

都市計画マスタープランの改定にあたって

はいたい くすーよー ちゅーうがなびら

那覇市は、琉球王国の時代より、アジア諸国にひらかれた独自性に富んだ都市として、政治・経済・文化の中心的な役割を担ってきました。しかし、去る大戦によって、歴史ある都市は壊滅的な打撃を受けました。

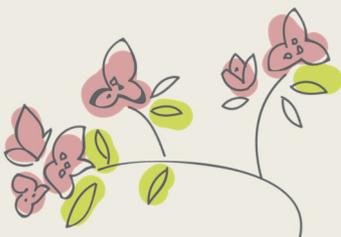
戦後の都市計画にあたり、当時、早稲田大学教授の石川栄耀博士（1893-1955年）を招聘し、1956（昭和31）年に、現在のまちづくりの基礎となる主な都市計画を決定し、港湾、道路、公園、下水道、土地区画整理などの都市基盤の整備を進め、県都として発展してきました。

1999（平成11）年には、まちづくりの基本的な方針として「都市計画マスタープラン」を策定し、マスタープランに沿った施策を展開してまいりました。策定から20年余りが経過し、全国的な人口減少・少子高齢化の進行、大規模な自然災害や気候変動など、本市を取り巻く状況は大きく変化してきました。このような時代の変化に対応するため、都市計画マスタープランの改定を行いました。

新たなマスタープランでは、これまで積み重ねてきたまちづくりを継承しつつ、少子高齢化社会、そして、人口減少時代をむかえる中で、住み続けられる那覇を目指し、土地利用の誘導と公共交通を中心としたまちづくりによるメリハリのある都市構造の形成といった考え方に重点を置き、まちづくりの方針を定めました。また、緑陰の創出などによる歩きやすいまちの形成や、人と人が出会い交流することによるコミュニティの活性化など、健康や観光などの多面的な視点を取り入れた方針といたしました。

本マスタープランをまちづくりの指針とし、本市に暮らす人が誇りと愛着を持てるまち、訪れる人が魅力とを感じるまちを目指し、これからも市民・事業者・関係団体のみなさまと共に協働によるまちづくりを進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

いっぺー にふえーでーびる



2020（令和2）年3月
那覇市長 城間 幹子



CONTENTS

序章 都市計画マスタープランとは

- 1. 都市計画マスタープランとはP 2
- 2. 都市計画マスタープランの位置づけP 2
- 3. 改定の背景P 3
- 4. 改定のプロセスP 3
- 5. 基本事項P 3
- 6. 都市計画マスタープランの構成P 4

1章 那覇市の現状と課題

- 1. 那覇市の特性P 8
- 2. 那覇市の成り立ちと市街地の変遷P 11
- 3. まちづくりの潮流P 14
- 4. 現状と課題P 18

2章 まちづくりの目標

- 1. まちづくりの目標P 32
- 2. 将来都市構造P 34
- 3. 取り組みの視点P 38

3章 分野別まちづくり方針

- 1. 土地利用の方針P 40
 - 【1-1】都市基盤を活かした土地利用の推進
 - 【1-2】地域の特徴を活かした戦略的な土地利用の推進
 - 【1-3】きめ細やかな土地利用の推進
- 2. 市街地形成の方針P 44
 - 【2-1】都市の活力を創造させる市街地の形成
 - 【2-2】生活の質を向上させる市街地の形成
 - 【2-3】コンパクトで利便性の高い市街地の形成
 - 【2-4】都市ストックの多様な視点からの活用
- 3. 都市交通体系の方針P 48
 - 【3-1】都市交通に対する考え方の転換
 - 【3-2】誰もが移動しやすい公共交通ネットワークの形成
 - 【3-3】市街地を整序する道路網体系の整備
 - 【3-4】地域の顔、生活の場となる道づくり
- 4. 都市環境形成の方針P 54
 - 【4-1】市街地の低炭素化の推進
 - 【4-2】水と緑が持つ多様な機能の向上
 - 【4-3】多様な生物が生息・生育する環境の形成
 - 【4-4】墓地の集約化の推進
- 5. 景観まちづくりの方針P 58
 - 【5-1】那覇らしさを特徴づける景観の骨格づくり
 - 【5-2】地域の個性を活かし多様な空間が織り成す景観づくり
 - 【5-3】風格と魅力を兼ね備えた新たな都市美の創造
 - 【5-4】総合的な景観形成の推進
- 6. 防災まちづくりの方針P 62
 - 【6-1】災害に強いまちづくりの推進
 - 【6-2】災害時の拠点やライフラインの機能強化
 - 【6-3】協働による防災まちづくりの推進
- 7. 福祉・交流まちづくりの方針P 64
 - 【7-1】ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進
 - 【7-2】気軽に出かけたくなるまちの形成
 - 【7-3】住み続けられる良質な住環境の形成

8. 観光・交流まちづくりの方針	P 66
【8-1】都市観光の魅力を感じるまちづくりの推進	
【8-2】快適に観光が楽しめるまちづくりの推進	
【8-3】中心市街地の再生と新たな交流が生まれるまちづくりの推進	
【8-4】歴史・芸術・文化でつなぐまちづくりの推進	
9. イノベーションまちづくりの方針	P 69
【9-1】人が出会い刺激し合える場所づくり	
【9-2】時代の変化に柔軟に対応するしなやかなまちづくりの推進	

4章 地域まちづくり方針

1. 地域まちづくり方針の構成	P 72
2. 地域区分	P 73
3. 地域まちづくり方針	
(1) 那覇新港周辺地域	P 74
(2) 那覇北地域	P 86
(3) 首里北地域	P 102
(4) 首里地域	P 114
(5) 真和志地域	P 128
(6) 那覇中央地域	P 144
(7) 那覇西地域	P 160
(8) 小禄地域	P 172
(9) 那覇空港周辺地域	P 188

5章 まちづくりの進め方

1. まちづくりの目標や地域の将来像の共有	P 192
2. 協働によるまちづくりの推進	P 193
3. 総合的なまちづくりの展開	P 196
4. 都市計画マスタープランの見直しについて	P 197

巻末資料	P 200
------	-------

コラム

1. 那覇広域都市計画区域とは？	P 6	8. 多様な使われ方ができる公園づくり	P 57
2. 避粉地～花粉症のないまち～	P 9	9. 那覇は水辺のまち	P 57
3. SDGsへの取り組み	P 15	10. 亜熱帯庭園都市とは？	P 61
4. 夢が膨らむタウンミーティング	P 30	11. 新たな防災まちづくりの取り組み ～防災キャンプ～	P 63
5. 多様な機能を持つまちづくり	P 41	12. 健康とまちづくり	P 65
6. サードプレイス ～居心地のよい都市空間の見つけ方～	P 46	13. 新たな観光資源の創出	P 68
7. LRTとまちづくり	P 53	14. MaaS ～人々の移動の概念をかえる取り組み～	P 70
		15. シビックプライド～都市は人なり～	P198



NAHAのまちスナップ

交通編	P 95	みどりと建築物編	P143
公園・水辺空間編	P101	さんぼみち編	P153
眺望景観編	P127	歴史・文化遺産 史跡・旧跡・建造物編	P159
道路編	P137	憩いの空間編	P181
		歴史・文化遺産 樋川・井泉編	P187

